

令和4年度 弘前市総合計画審議会 議事概要 (第1回)			
日 時	令和4年7月19日(火) 15時00分～16時45分		
場 所	弘前市役所 市民防災館3階 防災会議室及びオンライン	傍聴者	0人
出席者	委員 (18人)	<b>【会場出席(12人)】</b> 森会長、鴻野委員、川村委員、藤田委員、大西委員、田澤委員、小山(悟)委員、高橋委員、小山(三)委員、齋藤委員、鹿内委員、福士委員  <b>【オンライン出席(6人)】</b> 今村委員、高島委員、崎野委員、清藤委員、成田委員、外崎委員	
	事務局 (6人)	企画部長、企画課長、企画課長補佐、企画課主幹、企画課主査(2人)	
	その他		
<b>会 議 概 要</b>			
1 開 会			
2 委嘱状交付 ○市長から小山 悟 委員、小山 三千雄 委員、福士 委員に対して委嘱状を交付。			
3 市長挨拶			
4 諮 問 ○市長から森会長に対して諮問書を提出。			
5 議 事			
(1) 令和4年度弘前市総合計画審議会の進め方について ○事務局からの説明に対し、委員からの質問・意見等なし。			
(2) 弘前市総合計画リーディングプロジェクトの一次評価について ○主な質疑等の内容は以下のとおり。			
<b>【リーディングプロジェクト「(1) 誰もがいきいきと活動できる快適なまちづくり」】</b> ・指標「冬期間における安心・快適な生活が送れていることに満足している市民の割			

合」のポイントが低下しているが、その要因を明確にする必要がある。市民がどこに不満を感じているのか、もっと突き詰めていく必要があるので、詳しい資料を提示していただきたい。

⇒第2回審議会でお示しいたします。

- ・「地域共生社会実現サポート事業」の令和5年度の方向性が「終了」となっているが、何かしらの形で継続されるのか。

⇒当初の計画どおり、令和4年度をもって補助事業は終了となるが、みらいねっと弘前との連携は継続していく。

#### 【リーディングプロジェクト「(2) 安心できる医療体制と健康長寿の推進」】

- ・「弘前市健康づくりサポーター制度」について、活動を継続しつつ、今後サポーターの数を増やしていく際に、町会の負担が増えないようにする対策はあるのか。

⇒市の保健師が活動を支援しており、町会に任せっきりという状況ではないと認識している。

- ・「高齢者ふれあい居場所づくり事業」について、居場所とするための要件を緩和して、箇所を増やしていくことは可能なのか。

⇒登録されているが活動実態のない居場所もあると聞いており、後期基本計画に向け担当課では居場所の要件緩和を模索している。

- ・例えば、公園や個人宅など人が集える場所はあるので、活用すればよいのでは。

#### 【リーディングプロジェクト「(3) 地域を担うひとづくり」】

- ・地域産業魅力体験事業について、令和4年度予算額が減額となっているのはなぜか。

⇒高校生が地元商店街の魅力を発信するポスターを制作する取組が、令和4年度は実施されなかったため、減額となっている。当該取組は国の財源を活用するなどし、令和3年度まで実施していたもの。

- ・今後、本事業を拡充していくのか。

⇒現時点では拡充するという方向に至っていないが、拡充すべきというご意見は担当課に伝える。

- ・小中学校のトイレの洋式化について、全ての小中学校で洋式化が完了しているわけではない。また、洋式トイレが足りていないので子どもたちが並んでいる学校もあると聞いている。当初の予定を5年前倒しして工事を完了したとのことだが、次の工事計画も5年前倒しになっているのか。

関連して、市内の体育施設のトイレ洋式化が進んでおらず、学ぶ環境の整備という観点から、まだまだ取組が足りない。小中学校、体育施設ともにトイレの洋式化率を取得すべき。

⇒分野別政策「①学び」の「施策4) 快適で安心して過ごせる教育環境の整備」の指標として「小・中学校洋便器設置トイレ整備率」と「小・中学校トイレ洋式化率」を設定している。

5年前倒したのは「対象校の整備」であり、校舎そのものが老朽化している学校は対象校となっていないので、取組はまだ十分とは言えない。後期基本計画では指標の目標値を引き上げる方向である。

ご指摘のとおり、体育施設のトイレ洋式化の取組や指標が前期基本計画に示されていないので、後期基本計画策定に向け担当課に伝える。

・「地域マネジメント人材育成プログラム構築事業」について、この事業を通じて学んだ人たちが将来弘前に残るのかどうか、追跡調査する必要がある。

⇒当該調査を実施する予定はないが、短期的な効果が見えづらい事業ではある。

なお、地域で活動を継続している参加者もいるので、今後も事業を継続していく。

#### 【リーディングプロジェクト「(4) つながる・支える地域コミュニティ」】

・指標「町会加入率」はどのように取得しているのか。

⇒第2回審議会でお示しいたします。

・指標「町会加入率」の実績値は横ばいで推移しているが、加入していない人たちはなぜ加入しないのか、その理由を把握しているのか。

⇒第2回審議会でお示しいたします。

・教育自立圏構築推進事業はどのような事業か。

⇒市内の各中学校区において学校運営協議会を立ち上げ、地域と学校が一緒になって取組を進めていく事業である。

・「教育自立圏」という言葉は、国で定めた言葉か。弘前市で定めた言葉か。

⇒弘前市で定めた造語である。

#### 【リーディングプロジェクト「(5) 2025年に向けた早期対策の推進」】

・まちなかお出かけパス事業について、対象となる弘前市内の75歳以上の人口は約1万人であるが500人分しか予算がない状況であり、少ないのではないか。

⇒市としても多くの方にパスを利用していただきたいと考えており、交通事業者と調整を進めている。

**【その他】**

- ・◎、○、△で評価される指標・定性評価・取組内容・事業と、A、B、C、Dで評価されるアウトカムの総合評価との関係性はどうか。◎、○、△の数で総合評価がはっきりと決まるようにしたほうがよいのではないか。評価なので透明性・客観性が求められるのではないか。
- ⇒◎、○、△の数も踏まえ、総合的にバランスをとって評価している。
- ・今後、整理していただきたい。

6 閉 会